

平成30年度 若年技能者人材育成支援等事業

「生産性・品質向上の為にITの活用を図る企業の好事例発表 及び意見交換会」について

三重県技能振興コーナー

1. 日時 平成30年 10月26日(金) 13:00~15:30

2. 会場 パナソニック(株)ES社 津工場 E1棟 1F商談室

3. 参加企業・団体

旭電器工業株式会社 本社工場	(4名)
三重金属工業株式会社 飯高工場	(2名)
葉山電器製作所 本社工場	(1名)
高洋電機株式会社	(1名)
K&WE ニシゾノ企画	(1名)
パナソニック株式会社ES社津工場	(5名)
一般社団法人 三重県技能士会	(1名)
三重県職業能力開発協会	(1名)
三重県技能振興コーナー	(2名)

参加者 18名

4. ITの活用を図る企業の好事例発表(技能伝承発表含む)

好事例発表① パナソニック株式会社ES社 津工場
安田 寛和 様

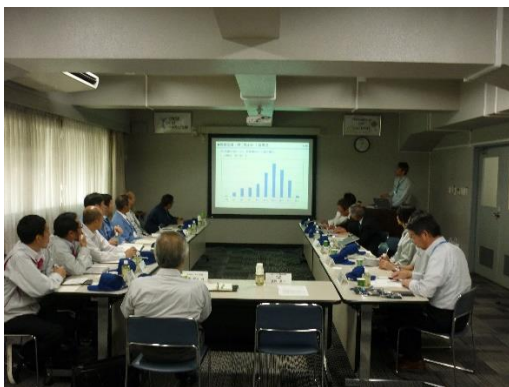
※発表内容

生産システムのIoT化(生産管理システムの構築)

- ・生産、停止、計画停止、異常停止等のデータの共有
- ・生産内容をパレート図で表示(停止原因の把握)
- ・生産を一連の流れとして管理し、異常停止が把握でき対応が迅速にできる
- ・フロア全体の設備の集中管理⇒海外生産拠点の設備も含む
- ・個人作業日報のタッチパネル化⇒作業日報データ管理(生産中、段取り中、休憩中、修理中、トイレ等)

※質疑応答

- ① シンプルな生産管理システムのようなのですがその意図は
職場の意向（複雑なシステムだと作業者が使用しづらい）
複雑にすると、カメラ・センサー等の設置が多くなり、設備自体の使用が難しくなる
多くの設備をシステム管理するので、予算・納期的に見て無理である
- ② 情報データはWi-Fiで飛ばしているのか
PLC通信（社内インフラでシリアル通信している、無線化している）
- ③ 1人で何台もの設備を担当している、設備の稼働は判るが個人の稼働が判りづらい
日報データのタッチパネル化を採用



（発表）



（質疑応答）

好事例発表② パナソニック株式会社ES社 津工場
森田 幹雄 様

※発表内容

技能伝承への取り組み

- ・マルチ技能とすり合わせ技能の伝承
- ・工科短大制度、コア人材育成制度
- ・技能育成ツール＝社内コンクール⇒技能検定制度⇒技能グランプリ
- ・海外拠点絞づくり人材育成

※質疑応答

- ① 技能伝承に於いて、女性のウエイトが多い職種は
組立部門が多いため、電子機器組立職種が多いが、職場により機械加工を初め多種
- ② 女性に検定をチャレンジさせるにはどうしたら良いか
グループ・班別で検定に取り組ませる。又、社内にて多くの技能者の見える所で練習させる（練習、やる気・意気込みUPに繋がり相乗効果が出る）

好事例発表③ K & We ニシゾノ企画
西園 賢治様 (I Tマスター)

※発表内容

効率化の為のI O T化

- ・ マスター鮮度管理
新しい情報が生産性Upに繋がる
マスターの不備は効率ダウン
(生産性システムが機能しないのはマスターの不備が原因)
- ・ 4M (Man・Machine、Material、Method) 変更時は必ずマスター変更を行う
- ・ 企業のノウハウをデータ化し共有する (知恵、手段、技術・技能)

※質疑応答

- ① I O Tへの関心は強いが、どのように進めたらよいのか明確でない
I O T化を無理やり進めるのではなく、今困っている作業のデータを取り、
先ずはそのデータの見える化を推進してデータの共有化を図る
(I O Tとものづくりは一体が基本)

5. 全体討議

- ・ I O T化と言っても、広範囲のため何をどのようにしたら良いか参考になった。
予算的に考え新設備導入は難しい中、現設備を改善・ソフト変更等、シンプルなシステムの構築を目指す (今何が必要かを判断する)
小規模な見える化・データ共有化を実践し、それを積み重ねていく
- ・ I O Tを活用して生産・品質・在庫管理を行って無駄をなくす
個人レベルからグループレベルでの管理 (情報の共有化・見える化・デジタル化) を推進する
- ・ 各設備稼働率の見える化により、停止理由のデータ共有、トラブル発生時の稼働停止時間削減が出来る事は、その後のトラブル処置が迅速にでき、参考にする所がある
(成形プレス機でのシステムだが、他の設備にも応用したい)
- ・ 成形プレスの停止内容をパレート図で表示、どの要因での停止が多いか一目瞭然
又、フロア全体の情報を一括管理している事は参考にしたい
- ・ P Cを使用して、誰でも情報共有出来る
熟練工、新人でも判るように保全情報 (データ) の電子化・見える化
(技能伝承につながる)
- ・ 個人の作業日報データを、都度タッチパネル入力 (無駄取り)
- ・ 技能検定複数資格の要件化 (人事制度に反映する) ⇒マルチ技能に結び付く

6. 総括

IOT化を推進するにあたっての重要項目、データ収集方法等、各企業間のIOT化の平準化が出来たと思います。

異なった取り組みの中で参考にして頂き、各企業に持ち帰り、更なる生産性・品質向上に取り組んで下さい。



(全体討議)



(総括)